

## 第5章 調査、予測及び評価の手法並びに景観評価の結果

### 第1節 景観影響の要因

表5.1-1に示す項目により起こりうる景観の変化を把握するため、調査、予測及び評価を行った。

表5.1-1 景観影響の要因

建設中の影響（工事の影響）	建設後の影響（土地又は工作物の存在）
-	建築物の存在 造成地の存在

### 第2節 景観影響の調査

#### 1. 調査の手法

##### 1.1 調査事項

調査事項は、表5.2-1に示すとおりである。

表5.2-1 調査項目一覧

番号	調査項目	摘要
1	定点観測地点の状況	
2	幹線道路上の眺望点の状況	
3	景観資源の状況	
4	定点観測地点からの眺望景観の状況	
5	幹線道路上の眺望点からの眺望景観の状況	
6	事業区域の周囲の状況	周囲の樹木や建築物

##### 1.2 調査手法

調査は、既存資料調査及び現地調査により行った。既存資料は、表5.2-2に示すとおりである。また、表5.2-3に示す関係機関への聴き取りによる調査も行った。

既存資料を用いて、定点観測地点及び幹線道路の位置並びに景観資源の分布の状況を整理した。幹線道路上の眺望点の状況並びに定点観測地点（登山を要するものを除く。）及び幹線道路上の眺望点からの眺望景観の状況については現地調査を実施して写真撮影による視覚的な把握を行い、登山を要する定点観測地点からの眺望景観の状況については山梨県から提供を受けた資料（経過観察用の写真）を用いて調査をした。

表5.2-2 既存資料一覧

資料名	発行者等	発行年月等
構成資産・緩衝地帯の範囲図	山梨県	
定点観測地点分布図	山梨県	
経過観察用の写真	山梨県等	繁葉期（平成 年 月撮影） 紅葉期（平成 年 月撮影）
山梨県富士・東部建設事務所管内図	山梨県	

景観配慮書の作成例

市景観計画	市	平成 年 月
<p>「経過観察用の写真」とは、「富士山 - 信仰の対象と芸術の源泉」保全状況報告書の包括的保存管理計画に基づき、山梨県その他の関係団体が定点観測地点からの展望景観の変化を観察するために撮影した写真をいう。</p>		

表5.2-3 聴き取り先等

聴き取り先		聴き取り年月日			
市	課	平成	年	月	日
町	課	平成	年	月	日

1.3 調査地域

調査地域については、定点観測地点の状況、景観資源の状況及び定点観測地点からの眺望景観の状況を適切に把握できる地域とした。具体的には、次のとおりである。

(1) 定点観測地点及び幹線道路上の眺望点

定点観測地点及び幹線道路上の眺望点については、視対象の見えが十分小さくなる距離（視対象の見えが熟視角1°よりも小さくなる距離）を考慮して事業区域の端部から6kmの範囲を調査地域とすることを基本とした。

(2) 景観資源

景観資源については、定点観測地点又は幹線道路上の眺望点から眺望することができる景観資源が存在する地域を調査地域とした。

(3) 事業区域の周囲

事業区域の周囲に存する樹木の樹種及び平均樹高並びに事業区域の周囲の土地利用の状況を把握するために必要な範囲を調査地域とした。

1.4 調査地点

(1) 定点観測地点

定点観測地点については、調査地域内に存在する定点観測地点及び標高の高い定点観測地点を調査地点とした。

(2) 幹線道路上の眺望点

幹線道路上の眺望点については、調査地域内に存在する県道富士河口湖富士線上の場所のうち、富士山及び事業区域を眺望することができる場所を調査地点とした。

1.5 調査時期等

現地調査の調査時期は、表5.2-4に示すとおりとした。

表5.2-4 調査期間（現地調査）等

区分	季節	調査時期等	摘要
幹線道路上の眺望点	落葉期	平成 年 月 日・9時～15時	
事業区域の周囲		平成 年 月 日～同年 月 日・9時～15時	

2. 調査の結果

2.1 可視領域の状況

対象事業に係る建築物を視認することができる範囲及び標高の高い定点観測地点は、図5.2-1に示すとおりである。

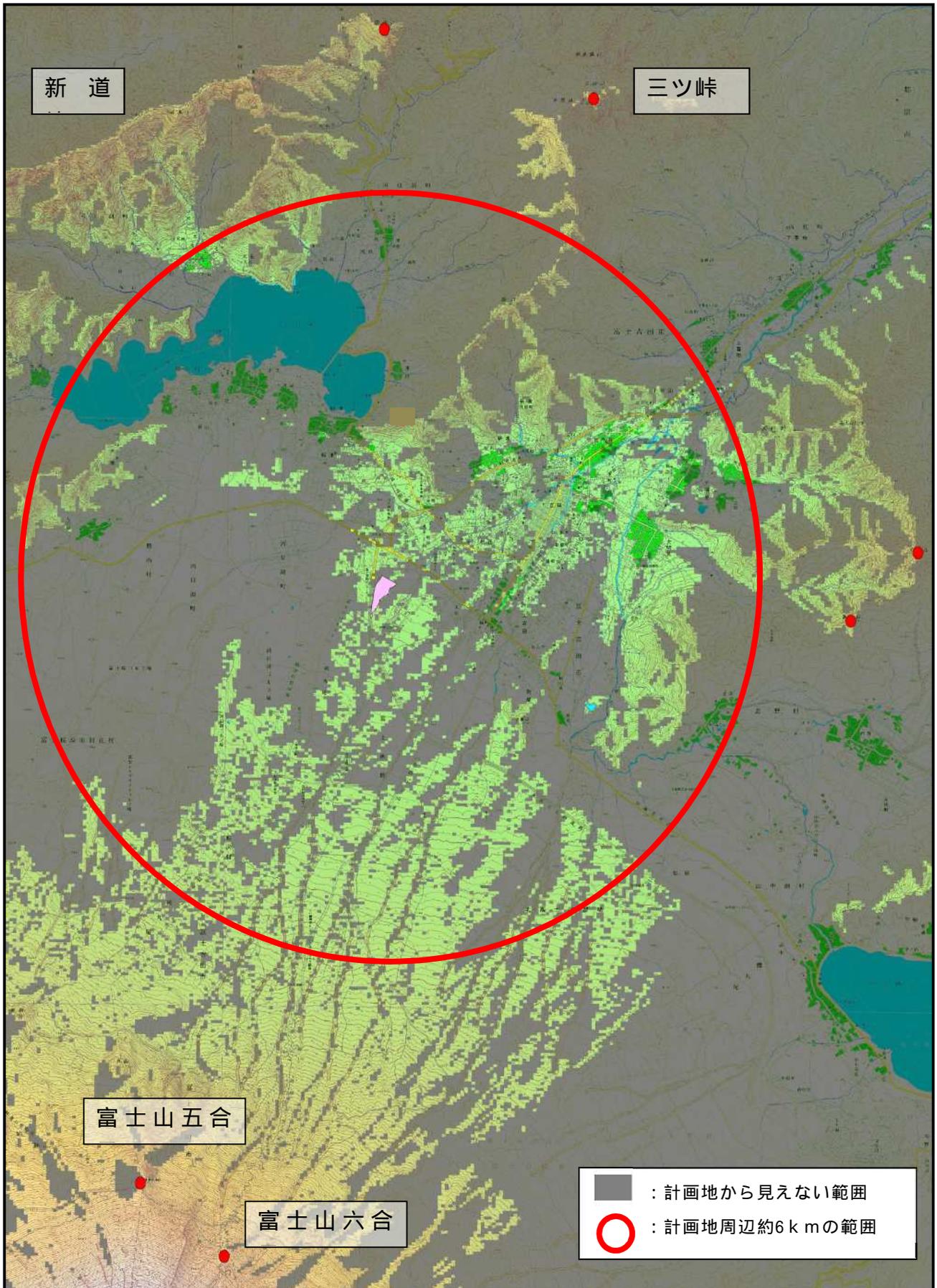


図 5.2-1 可視領域図

2.2 定点観測地点の状況

定点観測地点の状況は、表5.2-5に示すとおりである。

定点観測地点の位置は、図5.2-2に示すとおりである。

表5.2-5 定点観測地点の状況

番号	名称	主な利用時期・時間帯	摘要
1	吉田口六合目	7月～9月・終日	標高が高い定点観測地点
2	旧外川家住宅（国道西側歩道）	年中・終日	
3	旧外川家住宅（中門西側）	年中・日中	
4	北口本宮富士浅間神社（参道入口付近）	年中・日中	
5	北口本宮富士浅間神社（登山鳥居付近）	年中・日中	
6	北口本宮富士浅間神社（大塚丘）	年中・日中	
7	富士山レーダードーム館	年中・日中	
8	三ッ峠	4月～11月・日中	標高が高い定点観測地点
9	忍野八海・お釜池（南側）ほか	年中・日中	
10	富士スバルライン五合目	7月～9月・終日	標高が高い定点観測地点
11	河口浅間神社（参道入口付近）	年中・日中	
12	河口浅間神社（参道中程）	年中・日中	
13	河口浅間神社（社殿南側）	年中・日中	
14	新道峠	4月～11月・日中	標高が高い定点観測地点
15	大石公園	年中・日中	
16	富士御室浅間神社（随神門南側）	年中・日中	
17	富士御室浅間神社（西側鳥居付近）	年中・日中	
18	富士御室浅間神社（参道入口付近）	年中・日中	
19	八木崎公園	年中・日中	

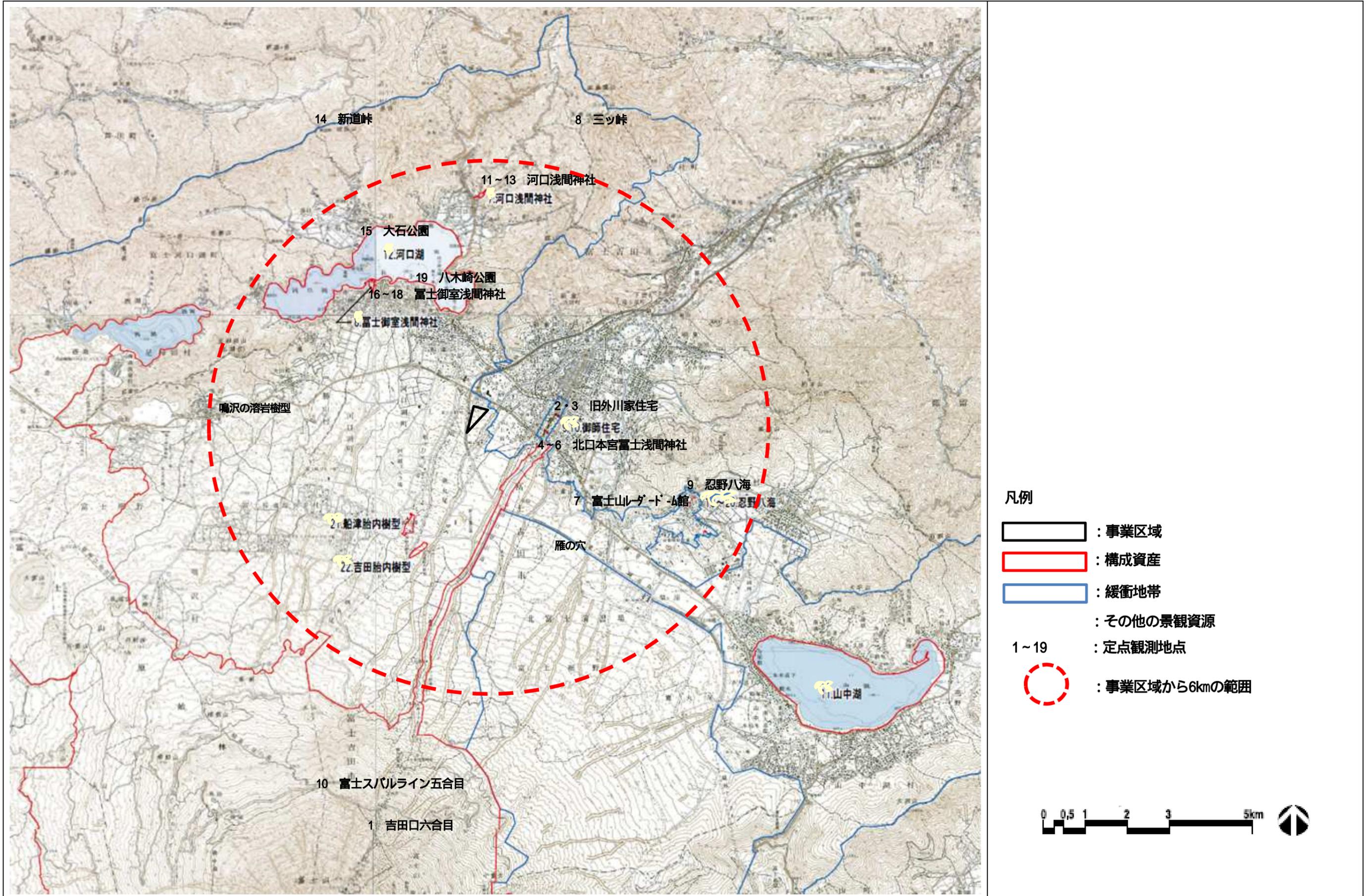
2.3 景観資源の状況

定点観測地点又は幹線道路上の眺望点から眺望することができる景観資源の状況は、表5.2-6及び図5.2-2に示すとおりである。

表5.2-6 景観資源の状況

番号	区分	名称	摘要
1	世界遺産	富士山域（北口本宮富士浅間神社及び西湖を含む。）	
2	世界遺産	河口浅間神社	
3	世界遺産	富士御室浅間神社	
4	世界遺産	旧外川家住宅	
5	世界遺産	小佐野家住宅	
6	世界遺産	山中湖	
7	世界遺産	河口湖	
8	世界遺産	忍野八海・出口池ほか	
9	世界遺産	船津胎内樹型	
10	世界遺産	吉田胎内樹型	
11	世界遺産	緩衝地帯	
12	自然景観資源	雁の穴	
13	自然景観資源	鳴沢の溶岩樹形	

出典：「富士山 - 信仰の対象と芸術の源泉」保全状況報告書（平成28年1月 日本国）  
 「第2回自然環境保全基礎調査」（昭和56年、環境庁）  
 「第3回自然環境保全基礎調査」（平成元年、環境庁）



2.4 幹線道路上の眺望点の状況

幹線道路上の眺望点の状況は表5.2-7に示すとおりであり、その位置は図5.2-3に示すとおりである。

なお、東富士五湖道路上の場所は調査地点として最適であるが、作業員の安全の確保するため、当該場所に準ずる場所として東富士五湖道路側道（東側）上の場所を調査地点とした。

表5.2-7 幹線道路上の眺望点の状況

記号	路線名	眺望点の所在地
ア	東富士五湖道路側道（東側）	富士吉田市松山地内（料金所東側地点から南方向に約200mの地点）

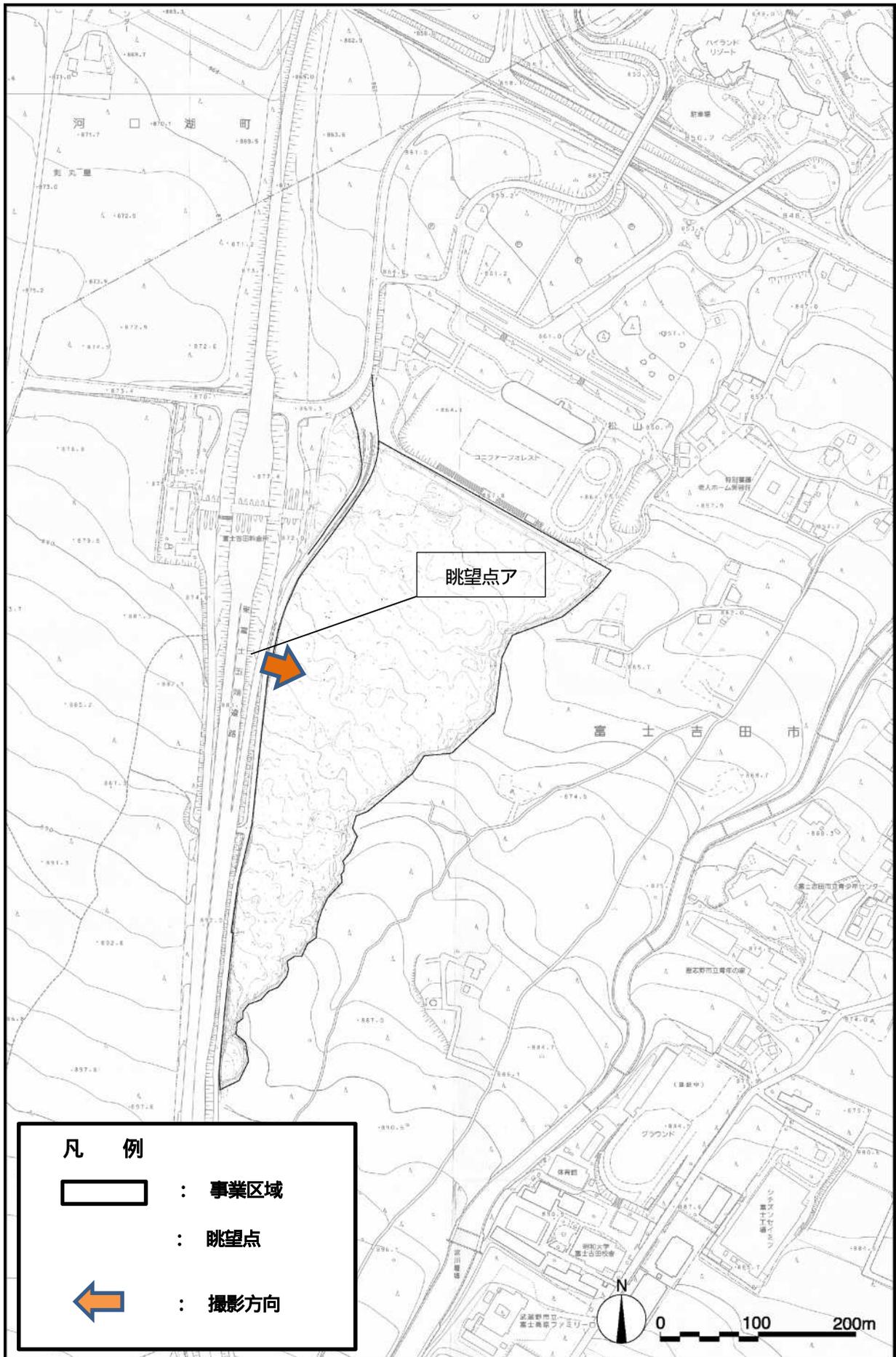


図 5.2-3 幹線道路上の眺望点位置図

2.5 定点観測地点からの眺望景観の状況

定点観測地点からの眺望景観の状況（対象事業実施区域の可視性）は、表5.2-8に示すとおりである。

表5.2-8 定点観測地点からの眺望景観の状況

番号	名称	視認性	視認性阻害要因
1	吉田口六合目	あり	
2	旧外川家住宅（国道西側歩道）	なし	定点観測地点周囲の建築物
3	旧外川家住宅（中門西側）	なし	定点観測地点周囲の建築物
4	北口本宮富士浅間神社（参道入口付近）	なし	定点観測地点周囲の樹木
5	北口本宮富士浅間神社（登山鳥居付近）	なし	定点観測地点周囲の樹木
6	北口本宮富士浅間神社（大塚丘）	なし	定点観測地点周囲の樹木
7	富士山レーダードーム館	なし	地形（小倉山）
8	三ツ峠	あり	
9	忍野八海・お釜池（南側）ほか	なし	定点観測地点周囲の建築物
10	富士スバルライン五合目	なし	地形（富士山）
11	河口浅間神社（参道入口付近）	なし	地形（山岳）
12	河口浅間神社（参道中程）	なし	地形（山岳）
13	河口浅間神社（社殿南側）	なし	地形（山岳）
14	新道峠	あり	
15	大石公園	あり	
16	富士御室浅間神社（随神門南側）	なし	定点観測地点周囲の建築物
17	富士御室浅間神社（西側鳥居付近）	なし	定点観測地点周囲の建築物
18	富士御室浅間神社（参道入口付近）	なし	定点観測地点周囲の建築物
19	八木崎公園	なし	定点観測地点周囲の樹木及び建築物

2.6 幹線道路上の眺望点からの眺望景観の状況

幹線道路上の眺望点からの眺望景観の状況は、表5.2-9に示すとおりである。

表5.2-9 幹線道路上の眺望点からの眺望景観の状況

記号	ア	調査地点名	東富士五湖道路東側側道
標高		882m	
事業区域（可燃ごみ処理施設）までの距離		50m	
眺望可能な景観資源		調査地点からは、富士山を眺望することができる。	
事業区域の可視・不可視の状況		可視	



撮影日：H28.##.##



撮影日：H28.##.##

2.7 事業区域の周囲の状況

事業区域の周囲の概況は、表5.2-10に示すとおりである。

また、事業区域の南端部から東方向約500mの地点に対象事業に係る建築物と同程度の規模の建築物が存在するが、その状況は、表5.2-11に示すとおりである。

表5.2-10 事業区域の周囲の概況

位置	周囲の状況	摘要
事業区域の東側	赤松林	
事業区域の西側	東富士五湖道路	
事業区域の南側	東富士五湖道路	
事業区域の北側	スポーツ施設	

航空写真等を貼付

表5.2-11 事業区域の周囲の状況（同程度の規模の建築物）

同程度の規模の建築物の状況	用途	工場
	高さ	約 m
	建築面積	約 m <sup>2</sup>
	色彩	屋根：青色 外壁：白色
	その他	
<div style="border: 2px solid black; padding: 50px 0;"> <h1 style="margin: 0;">位置図</h1> </div>		
<div style="border: 2px solid black; padding: 20px;"> <p style="font-size: 24px; margin: 0;">写真A</p> </div>		<div style="border: 2px solid black; padding: 20px;"> <p style="font-size: 24px; margin: 0;">写真B</p> </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                 撮影日：H_._._             </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                 撮影日：H_._._             </div>